

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
コーティング2号建築物

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.2.0)

スコアシート		基本設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q1 建築物の環境品質								2.9
Q1 室内環境			0.30					3.4
1 音環境		3.0	0.15					3.0
1.1 騒音		3.0	0.40					
1 暗騒音レベル		3.0	1.00					
1.2 遮音		3.0	0.40					
1 開口部遮音性能		3.0	0.60					
2 界壁遮音性能		3.0	0.40					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		3.0	0.20					
2 温熱環境		3.7	0.35					3.7
2.1 室温制御		3.7	0.50					
1 室温設定	空調制御(クリーンルーム)	5.0	0.38					
2 室温変動・過熱・過冷却防止								
3 外皮性能		3.0	0.25					
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38					
5 湿度・湿度変動								
6 湿度変動に対する配慮								
7 結露・結露防止								
2.2 湿度制御	空調制御(クリーンルーム)	5.0	0.20					
2.3 空調方式		3.0	0.30					
3 光・視環境		3.0	0.25					3.0
3.1 屋光利用		3.0	0.30					
1 屋光率		3.0	0.60					
2 方位別開口								
3 屋光利用設備		3.0	0.40					
3.2 グレア対策		3.0	0.30					
1 窓枠遮光								
2 屋光制御		3.0	1.00					
3.3 照度		3.0	0.15					
1 照度		3.0	1.00					
3.4 照明制御		3.0	0.25					
4 空気環境		3.8	0.25					3.8
4.1 発生源対策		4.0	0.50					
1 化学汚染物質	全て4☆を仕様	4.0	1.00					
4.2 換気		3.3	0.30					
1 換気量	換気制御(クリーンルーム)	4.0	0.33					
2 自然換気性能		3.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33					
4 換気騒音								
4.3 運用管理		4.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50					
2 喫煙の制御	全館禁煙とする	5.0	0.50					
Q2 サービス性能			0.30					3.3
1 機能性		3.2	0.40					3.2
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.60					
1 広さ・収納性		3.0	0.33					
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33					
3 バリアフリー計画		3.0	0.33					
1.2 心理性・快適性		3.6	0.40					
1 広さ感・景観	天井高さ2.7m以上	4.0	0.33					
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33					
3 内装計画	メンテナンスを考えたディテールと照明計画実施	4.0	0.33					
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計	R幅木の採用 その他Q2解説による							
2 維持管理用機能の確保	SK設置 その他Q2解説による							
2 耐用性・信頼性		3.1	0.31					3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.48					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23					

2.4 信頼性			3.6	-			
1	空調・換気設備	伸縮継手の採用	4.0	0.20			
2	給排水・衛生設備	節水型器具の採用	4.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備	光ケーブル、MDF、LAN	4.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.7	0.29			3.7
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31			
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	壁長さ0.1~0.3	4.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31			
3.3 設備の更新性			3.5	0.38			
1	空調配管の更新性	天井スペース確保	4.0	0.17			
2	給排水管の更新性	構造部材を痛めることなく更新できる	4.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース	バックアップスペース確保	4.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40			2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-			3.2
LR1 エネルギー			-	0.40			3.0
1 建物の熱負荷抑制							3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.29			3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50			
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		ポイント法にて	ERR=0	3.0	0.43		3.0
4 効率的運用			3.0	0.29			3.0
4.1 モニタリング			3.0	0.50			
4.2 運用管理体制			3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			3.8
1 水資源保護			3.0	0.15			3.0
1.1 節水			3.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60			
1.2.1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.67			
1.2.2 雑排水再利用システム導入の有無			3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			4.0	0.63			4.0
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.07			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		セメント	4.0	0.20			
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		アスファルト、ビニルタイル、セメント、タイル等	5.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.05			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		資材分離可能	5.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.8	0.22			3.8
3.1 有害物質を含まない材料の使用		科学物質発生材非使用	5.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68			
3.2.1 消火剤		ハロン材は非使用	4.0	0.33			
3.2.2 断熱材			3.0	0.33			
3.2.3 冷媒			3.0	0.33			
LR3 敷地外環境			-	0.30			2.8
1 地球温暖化への配慮			2.9	0.33			2.9
2 地域環境への配慮			3.0	0.33			3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.25			
2.3.1 雨水排水負荷低減			-	-			
2.3.2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33			
2.3.3 交通負荷抑制		適正な駐車スペース確保	4.0	0.33			
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.33			
3 周辺環境への配慮			2.4	0.33			2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
3.1.1 騒音			3.0	1.00			
3.1.2 振動			-	-			
3.1.3 悪臭			-	-			
3.2 風害、日照阻害の抑制			1.6	0.40			
3.2.1 風害の抑制			1.0	0.70			
3.2.2 日照阻害の抑制			3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70			
3.3.2 壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30			